

# お引越しの手引き

ひと口に「引越し」と言っても、単に荷物を運ぶだけではありません。さまざまな手続きがあります。ここでは一般的な、引越しの手続き・手順をご説明致します。  
新居での生活がスムーズに始まりますよう、ご参考にしていただければと思います。

## ■新居の契約が成立したら

賃貸借契約書は貸主と借主が合意した賃貸借の条件を示す重要な書類です。契約が終了（退去）するまで契約の前に受領した「重要事項説明書」などの書類と一緒に大切に保管してください。

契約を無事に済ませたら、さっそく引越しの準備にとりかかりましょう。運送会社や引越し専門会社に連絡して見積もりを取るとともに、荷造りに必要な資材をそろえ、新居のレイアウトプランを考え、新居の家具の配置図を作っておきましょう。

なお、引越しの1週間前までに電話の移転の手続きや、新居のガスを開栓してもらうように予約をしましょう。また、引越しを友達に手伝ってもらうなら、友人・知人への手配も、1週間前までには済ませておきたいものです。

チェック項目	主なポイント
引越し会社またはレンタカーの手配・連絡	いくつかの引越し会社で見積もりを取り、料金やサービスを検討してはかがみでしよう。3~4月、11~12月にかけての引越しシーズンは混み合うので早めの手配を。レンタカーでの引越しを考えている場合は、荷物の量を検討の上、車選びを。
荷造りに必要な資材をそろえる	引越し会社の見積もりに、荷造り用の資材が含まれていない場合は、みかん箱程度の大きさのダンボールをいくつか用意しておくことと便利。また、ガムテープや割れやすい物を包む古新聞を集めておくことも忘れずに。
新居のレイアウトプランを考える	新居の間取り図のコピーをとり、入居後に再び家具や電気製品を動かさなくてもよいよう、レイアウトはじっくり考えて決めましょう。特に、コンセント、TVアンテナの位置、柱、はり、押入れ、天袋の大きさ、カーテンの幅等に注意しましょう。配置図は運送店にも渡しておいてください。
電話の移転や引き込み工事の予約	NTTの116番へ引越す旨を連絡。新設はNTT窓口または加入取扱店で手続きします。116番で確認しましょう。新居に回線を新設する場合は、引き込み工事日の予約をします（工事は本人の立ち会いが必要）。
ガス開栓の予約 電気通電の申込み	ガスの開栓には本人の立ち会いが必要なので、早めに日程を決めて予約を。事前に通電・契約容量の申込みが必要です。契約事業者へ事前にお申込ください。
引越しを手伝ってもら う友人・知人の手配	引越し当日、運送や荷解きを引越し会社へ依頼せず自分で行う場合は、手伝ってくれる人を探しておきましょう。
荷造り開始	荷造りをした箱の外側に内容を書いておくことが大切です。荷造りを引越し会社に依頼している場合には、自分で管理しておきたい最低限の荷物（貴重品など）は、1つにまとめておきましょう。

## ★ポイント

引越し会社には、予算や引越し会社に依頼する作業内容に合わせてさまざまなサービスがあります。その中から自分に適したものを選ぶこととなりますが、自分でできることは自分ですることが、出費を抑えることにつながります。引越し会社にサービス内容をよく聞いて、経済的な引越しをしましょう。

- 引越しはできれば平日に  
引越し日によって割増料金になることがあります。（土・日・祝など）
- 荷造り・荷解きは自分で  
引越し会社に全てまかせてしまうプランもありますが、時間に余裕があれば、荷造り・荷解きだけでも自分ですれば経済的です。
- 有料の引越し資材は自分で集めよう  
自分でそろえられる、ダンボールやガムテープ、ひも類などを用意しましょう。
- 新居で不用なものは、事前に処分  
荷物の量が多ければトラックも大きくなり、作業人員も増えて費用がかさみます。新居で使わないものは、事前に連絡して清掃局に引き取ってもらいましょう。  
リサイクルやフリーマーケットに出すなどの方法もあります。
- 荷物の量をしっかり把握し、正確な見積もりを  
荷物の量がはっきりしないまま引越しを依頼すると、トラックが大きすぎたり小さすぎたりして、効率が悪くなります。正確に荷物の量を把握し、見積もりを依頼しましょう。
- 引越し会社のオプションサービスを活用しよう  
引越し会社では、エアコンやアンテナなどの取り付け、取り外しや、ピアノや電子オルガンの輸送、荷物の保管、ユニット家具の取り付けなど、さまざまなオプションサービスがあります。それぞれの専門の業者に依頼するより安くなる場合があるので、引越し会社に事前に相談を。

## ■引越しの前日までにすること

引越しの前日までに、住民票の転出届などを行っておきましょう。また、引越しの荷造りをチェックするとともに、新居の掃除を行うことも重要です。また、**お部屋に異常がないか**、床、壁、天井などに確認していない傷や汚れがないかをご確認ください。万一不都合や疑問な点がありましたら、速やかに家主または管理会社へ連絡しましょう。

引越し費用を用意し、貯金通帳や印鑑などの貴重品を1つにまとめておくことも忘れずに。

チェック項目	主なポイント
住民票の転出手続き	現住所の市区町村役場で転出届の手続きを行います。これは、引越し先の住所を登録するときに必要となるため、必ず交付してもらいます（印鑑を持参）。この時役所で行なう手続きについて窓口で確認しておきましょう。印鑑登録カード、国民健康保険証などを忘れずに。
公立小・中学校の転校手続	現在通っている学校へ転校届けを出します。
原動機付自転車の 廃車届提出	現住所の市区町村役場で廃車届の手続きを行います。（新住所では、市区町村役場で車両番号の交付を受ける）
郵便局への転送届提出	郵便局の窓口にある転送届に必要事項を記入しポストに投函しておくこと、1年間、旧住所に送られてきた郵便物が新住所へ転送されます。
電力会社への連絡	領収証に記載の営業所へ引越す旨を連絡します。
水道局への連絡	水道局お客様センターへ引越す旨を連絡します。
ガス会社への連絡	領収証に記載の営業所へ引越す旨を連絡します。
新聞配達中止の連絡	新聞配達店へ連絡します。
NHKへの連絡	領収証に記載の営業所へ引越す旨を連絡します。
新居への届出	新居が集合住宅で管理組合や管理人がある場合は、引越や入居、入居者名簿等を届け出る必要が多いため、事前にご確認下さい。

新居の掃除・確認	荷物を運び込む前に、新居全体を拭き掃除しておきます。また、押し入れなどの収納部分には、防カビ対策をしておきましょう。お部屋に異常がないか、床、壁、天井などに確認していない傷や汚れがないかを確認し、万一不都合や疑問な点があったら、家主または管理会社へ連絡します。
冷蔵庫・洗濯機の水抜き	引越し当日、すぐに運搬ができるように水抜きをしておきましょう。
現在の住まいの掃除	きちんと掃除を。引越し当日も再度チェック。
現在の住まいの近隣の方々へのあいさつ	引越し当日は忙しいため、2～3日前からあいさつ回りを。留守がちなお宅には、代わりにあいさつ状をポストに。
引越し費用などの準備	引越し料金を当日精算する場合は、そのための現金を用意しておきます。貯金通帳や印鑑などの貴重品も1つにまとめて自分で管理しましょう。

## ■ 引越し当日にすること

引越し当日は、荷下ろしの立ち会いや引越し料金の精算、各設備の点検やガス・電気・水道の使用開始の連絡など、やらなければならないことがいっぱいあります。また、荷物を搬入した後、建物の玄関や廊下を汚していないかもチェックしましょう。

チェック項目	主なポイント
荷下ろしの立ち会い	引越し会社の車やレンタカーは、大家さんや管理会社の指示に従って、ご近所に迷惑をかけないように止めてください。また、搬出した荷物の数や傷みの確認もしておくようにしましょう。家具などを搬入する際には、壁・手摺・階段などを損傷しないよう注意し、損傷があった場合、早めに確認・連絡し、修理費用負担を協議する必要があります。
引越し料金の精算	荷下ろしが終わった時点で支払う場合は現金を用意し、領収証をもらいます。
水道の使用開始	通常、水道はすぐに使用できます。水道はメーターボックス内の水道元栓を開いてご使用下さい。入居連絡用ハガキに必要事項を記入してポストに投函してください。ハガキが見あたらない場合は、水道局お客様センターに連絡します。
電気の使用開始	スマートメーター化に伴い契約容量が小さく変更又は供給が停止されている場合があります。事前に通電・契約容量の申込をして、契約事業者にご確認下さい。
ガスの使用開始	ガスはあらかじめ予約した日に「ガス器具を用意して」立ち会い、ガス会社の係員に、ガス器具を確認してもらった上で開栓してもらいます。特に使用するガスの種類には注意しましょう。当社付近では一般的に、天然ガス（13A、11,000 kcal/L）です。これまで他の種類のガスを使用されていた方はガス器具の調整若しくは交換が必要です。
電話の使用開始	電話線をつなぎ発信できるか確認してください。
部屋・各設備の点検	必ず設備に異常がないか確認しましょう。ドアや扉の開閉はスムーズか、エアコンはきちんと作動するか、水回りでは水漏れがないか・・・などをチェックしよう。故障している場合は、すぐに家主か管理会社へ連絡を。
表札の表示	玄関、郵便受けに表札を掲示してください。
掃除・ゴミの処理	簡単な掃除や片付けができるよう、ぞうきんやゴミ袋を用意しておきます。荷物を搬入した後は、建物の玄関や廊下を散らかしていないか、チェックを忘れずに。お引越の際に出る梱包材や粗大ゴミ類は日常のゴミ収集車では収集しません。引越業者で処理してくれる場合も多いのであらかじめ相談しましょう。
大家さんやご近所への挨拶（時間によっては翌日以降に）	迷惑をかけない時間帯を見計らってあいさつ回りを。遠くの親戚より近くの他人。困ったときお世話になることもあるかもしれません。めんどうがらずに上下左右の部屋の人に挨拶をしてみたいかでしょうか。また、町内会や自治会は地域の情報、防犯、災害対策などであなたの生活を支えます。留守がちなお宅には、代わりにあいさつ状をポストに入れておきましょう。

## ■ 引越し後 2週間以内にとすること

引越しが済んだからといって安心してはいけません。住民票の転入手続き、運転免許証の住所変更、自動車の変更登録などの手続きが待っています。まだ済んでいない家主や近所の方々へのあいさつも重要な仕事です。また賃貸借契約書は貸主と借主が合意した賃貸借の条件を示す重要な書類です。使用方法が制限される場合がありますので、もう一度「賃貸借契約書」の内容を確認し、ルールや約束事を守るよう注意してください。

チェック項目	主なポイント
住民票の転入届の手続き	14日以内に転入先の市区町村役所（またはその出張所）で「転出証明書」と一緒に転入届を提出します。印鑑を忘れずに。この時役所で行なう手続きについて窓口で確認しておきましょう。
運転免許証の住所変更	新住所の所轄の警察署で手続きを行います（運転免許証とその他保険証などの身分証明書を持参）。
車庫証明の手続き	新しい車庫（または駐車場）が確保できたら、新住所の所轄の警察署で手続きを行います。 ※警察署により異なる場合がありますので、あらかじめ確認しましょう。
自動車の変更登録	引越しによって所轄の陸運支局が変わった場合、新住所を所轄する陸運支局で手続きを行います（車庫証明、車検証、新住所の住民票、印鑑、自動車税申告書、自動車取得税申告書を持参）。
銀行、郵便貯金等の住所変更	銀行、郵便局に連絡し住所変更の手続きをします。（通帳と印鑑＜届出印＞が必要）。この時、公共料金自動引き落としの手続きもしておくくと便利です。
クレジットカードの住所変更	クレジットカードの裏面に記載されている連絡先に電話をし、住所変更の手続きをします。書類に必要事項を記入して返送します。
生・損保の住所変更	保険会社に連絡し住所変更の手続きをします
転居通知ハガキ発送	お世話になっている方々や友人に、新住所などを記した転居ハガキを送ります。
その他	各機関に確認し、もれのないようお手続き下さい。 印鑑証明登録申請・転校の手続き・国民健康保険・国民年金・その他年金 ・児童手当の申請・母子手帳の住所変更・加入団体、同窓会などの住所変更

## テレホンガイド

名称	電話番号	所在地
江東区役所 （亀戸出張所）	3647-9111 3683-3734	江東区東陽4-11-28
城東警察署	3699-0110	江東区北砂2-1-24
城東消防署	3637-0119	江東区亀戸6-42-9
城東郵便局	3681-9584	江東区大島3-15-2
城東保健相談所	3637-6521	江東区大島3-1-3
江東清掃事務所	3644-6216	江東区潮見1-29-7
東京電力江東支社	0120-995-001	江東区大島3-4-5
東京ガス	3842-0111	
都水道局江東営業所 （引越し・変更）	5633-9053 5326-1100	江東区新砂1-7-2 水道局お客様センター
都立墨東病院	3633-6151	墨田区江東橋4-23-15